



## 主要な農作物の生育情報

平成23年度 第1号  
(平成23年 6月10日)  
福島県農林水産部農業振興課



### 【水 稲】

県内の田植盛期は各農林事務所農業振興普及部・農業普及所の調査によると、東日本大震災の影響から各地域に遅れがみられ、県全体ではおよそ7日の遅れとなりましたが、5月末日までにはほぼ終了しました。

農業総合センターにおける作況試験(6月7日現在)では、草丈が平年並み~やや長め、茎数は本部和会津地域で少なく、浜地域でやや多め、葉齢は平年並み~やや多い状況となっています。

### 【麦 類】

農業総合センターにおける作況試験では、3~4月の低温により節間伸長開始期が8~18日と大幅に遅れたものの、出穂期では平年と比較し、小麦「きぬあずま(浜地域)」で6日、「ゆきちから(会津)」で9日の遅れとなっています。浜地域の大麦(シュンライ)では平年より3日遅れ、間もなく成熟期となる見込みです。

### 【夏そば】

農業総合センター会津地域研究所での生育は、一部で播種後の降雨による出芽不良が見られましたが、全般的には順調な生育となっています。

### 【野 菜】

#### 1 アスパラガス

半促成栽培は5月上旬より立茎を開始し、夏秋取りは平年並みの6月上旬から行われています。  
露地栽培は5月下旬より立茎を開始し、夏秋取りは平年並みの7月中旬頃より行われる予定です。

#### 2 きゅうり

露地夏秋きゅうりの育苗では、一部で徒長気味となりました。定植作業は台風2号の影響で4~5日遅らせたほ場もありましたが、平年並みの5月下旬がピークとなりました。

#### 3 トマト

県南地方では、2月下旬から3月上旬にかけてのは種の作型で、4月20日頃より定植作業が行われました。

南会津地方では、各農家への仮植苗配布は、5月上旬に行われました。定植は平年並みの6月上旬から行われています。

#### 4 夏秋ピーマン

安達地方及び田村地方のトンネル栽培の定植作業は、平年並みの5月の連休から行われましたが、乾燥の影響で生育が抑制されたほ場があります。露地栽培の定植作業は、平年並みの5月20日頃から行われました。

## 5 夏秋ナス

安達地方及び田村地方のトンネル栽培の定植作業は、平年並みの5月の連休明けから行われましたが、乾燥の影響で生育が抑制されたほ場があります。露地の定植作業は、5月20日頃から行われました。

## 6 サヤエンドウ

県北地方では3月の低温により生育がやや遅れ、5月上中旬からの出荷開始となりました。県中地方での出荷開始は5月20日頃から行われました。

現在、着莢は良好ですが、ナモグリバエの被害がみられます。

### 【果 樹】（農業総合センター果樹研究所）

#### 1 モ モ

果実肥大を暦日で比較すると、「あかつき」が平年比88～93%、「ゆうぞら」が平年比83～88%と平年より小さい状況です。

農業総合センター果樹研究所における「あかつき」の収穫期予測によると、今後の気温が平年並に推移した場合、収穫始めは8月8日頃で平年より6日程度遅いと予測されています。

#### 2 ナ シ

果実肥大を暦日で比較すると、「幸水」が平年比99～102%、「豊水」が平年比99～103%と両品種ともにほぼ平年並みの状況です。

#### 3 リンゴ

果実肥大を暦日で比較すると、「つがる」が平年比95～98%と平年より小さく、「ふじ」が平年比98～99%と平年よりやや小さい状況です。

#### 4 ブドウ

農業総合センター果樹研究所における「巨峰」の開花予測によると、今後の気温が平年並に推移した場合、開花始めは6月11日頃で平年より5日程度遅いと予測されています。

### 【花 き】

3月から4月の低温による生育の遅れは、4月下旬から5月中旬の好天により全般に回復傾向にあります。

#### 1 キク類

露地栽培の小ギクや輪ギクでは、8月咲き品種の定植作業が7日程遅れましたが、その後の生育は順調で、ほぼ平年並みに回復しています。

#### 2 リンドウ

会津地方、南会津地方は、融雪の遅れから萌芽が遅れ気味でしたが、節数や草丈はほぼ平年並みまで回復してきています。

#### 3 シュッコンカスミソウ

昭和村等の積雪地域では、融雪の遅れによる萌芽や農作業の遅れが懸念されましたが、融雪後の生育や圃場準備が順調に進み、ほぼ平年並みの生育です。

#### 4 トルコギキョウ

促成栽培の生育は、順調に収穫が進んでいます。季咲き栽培は、ほぼ平年並みに6月下旬から出荷となる見込みです。

#### 【飼料作物】

##### 1 牧草

6月1日現在の牧草の生育は、平年よりやや遅く、草丈の低い地域も見られますが、平坦部では5月下旬から6月上旬にかけて収穫期を迎え収穫作業が行われています。

また、山間部では出穂始めで6月中旬頃までに収穫作業が行われる見込みです。

##### 2 飼料用とうもろこし

飼料用とうもろこしは、平年に比べ播種作業が遅れた地域も見られますが、5月上旬から下旬にかけて播種作業が行われ、順調に発芽・生育しています。

病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報等を活用してください。

( <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html> )

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7336

<http://www.pref.fukushima.jp/keieishien/kenkyuukaihatu/gijyutsufukyuu/seiikugijyutsujyohou.html>